

平成 21 年 6 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社 ベルーナ  
代表者名 代表取締役社長 安野 清  
(コード番号 9997 東証第1部)  
問合せ先 管 理 本 部 長 須藤 滋  
(TEL. 048-771-7753 )

## (訂正)「平成 21 年 3 月期 第 2 四半期決算短信」の一部訂正に関するお知らせ

平成 20 年 10 月 31 日に発表いたしました「平成 21 年 3 月期 第 2 四半期決算短信」について、記載内容の一部に訂正すべき事項がございましたのでお知らせいたします。なお、訂正はキャッシュ・フロー計算書に記載されている箇所であり、損益の訂正はありません。

### 記

[訂正箇所]

訂正箇所には下線を付しております。

・3ページ

定性的情報・財務諸表等

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(キャッシュ・フローの状況)

<訂正前>

(省 略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により取得した資金は 9,663 百万円ですが、これは、営業貸付金が 5,513 百万円減少したことに加え、その他の流動資産が 2,909 百万円減少したこと等が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は 934 百万円ですが、これは、差入保証金にかかる支出 741 百万円が主な要因であります。

(省 略)

<訂正後>

(省 略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により取得した資金は 8,266 百万円ですが、これは、営業貸付金が 5,513 百万円減少したことに加え、その他の流動資産が 855 百万円減少したこと等が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により取得した資金は 462 百万円ですが、これは、差入保証金にかかる支出 741 百万円があった一方で、投資有価証券の売却による収入 2,435 百万円が主な要因であります。

(省 略)

・8ページ  
 定性的情報・財務諸表等  
 5. 四半期連結財務諸表  
 (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書  
 <訂正前>

(単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
(省略)	
その他の流動資産の増減額(△は増加)	2,909
仕入債務の増減額(△は減少)	282
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,067
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△17
その他	1,201
小計	11,077
利息及び配当金の受取額	159
利息の支払額	△216
法人税等の支払額	△1,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,663
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△5
有形固定資産の取得による支出	△362
有形固定資産の売却による収入	2
無形固定資産の取得による支出	△594
投資有価証券の取得による支出	△345
投資有価証券の売却による収入	1,039
貸付けによる支出	△115
貸付金の回収による収入	48
差入保証金の差入による支出	△741
差入保証金の回収による収入	259
その他の支出	△124
その他の収入	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△934
(省略)	

(訂正後)

(単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
(省略)	
その他の流動資産の増減額(△は増加)	855
仕入債務の増減額(△は減少)	282
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,067
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△17
その他	1,201
小計	9,024
利息及び配当金の受取額	159
利息の支払額	△216
法人税等の還付額	656
法人税等の支払額	△1,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△5
有形固定資産の取得による支出	△362
有形固定資産の売却による収入	2
無形固定資産の取得による支出	△594
投資有価証券の取得による支出	△345
投資有価証券の売却による収入	2,435
貸付けによる支出	△115
貸付金の回収による収入	48
差入保証金の差入による支出	△741
差入保証金の回収による収入	259
その他の支出	△124
その他の収入	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	462
(省略)	